2022 年 10 月 20 日

報道関係各位

GMO NIKKO 株式会社

GMO NIKKO、一般企業や IP・コンテンツホルダーのファンベースマーケティングを NFT で支援する「NFT プロデュース byGMO」をリリース

～デジタルインセンティブ企画を軸として、ファンとの距離を縮める"新しいコミュニケーション"をサポート～

GMO インターネットグループの GMO アドパートナーズ株式会社の連結会社で、総合マーケティング支援事業を展開する GMO NIKKO 株式会社（代表取締役社長：佐久間 勇　以下、GMO NIKKO）は、2022 年 10 月 20 日（木）より、メタバース関連ビジネスをサポートする「GMO メタバース ラボ」において、一般企業や IP・コンテンツホルダーに対して NFT を活用した新しいファンベースマーケティングを支援する「NFT プロデュース byGMO」の提供を開始したことをお知らせいたします。

これにより、多くの消費者に向けてサービスや製品を展開しているメーカー・小売業等の一般企業や、多くのファンに支えられているクリエイター、インフルエンサー、アスリート等の IP・コンテンツホルダーが、ファンとの絆を構築する手段としての NFT 活用を支援してまいります。

【「NFT プロデュース byGMO 」提供開始の背景】

■国内で NFT 活用の動きが始まるも、導入には高いハードル

2022 年 6 月に日本政府が Web3 活用を成長戦略の柱に据え、9 月には内閣官房が主催した、全国の自治体がデジタル技術を活用した地方活性化の取り組みを競う「令和 4 年度夏の Digi 田甲子園」の表彰式で、副賞として受賞証明 NFT を作成するなど、NFT の活用が注目されています。

このような背景もあり、国内では政府だけでなく、一般企業がファンとの距離を縮める新しいコミュニケーションの手法としても NFT に活路を開こうとする動きが見られます。特に、エンタメ業界やスポーツ業

界では新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ライブや試合等のリアルイベントの縮小・中止が余儀なくされ、ファンとの直接的なコミュニケーションが難しくなりその動きが顕著に表れています。

一方、NFT の活用は、暗号資産の取り扱いをはじめとする技術的な知識が必要となるため、一般企業や IP・コンテンツホルダーが始めるにはハードルが高いという実状があります。

■NFT を活用した数々のマーケティング実績がある GMO NIKKO だからこそできる包括的な支援

デジタルマーケティングを主とする総合マーケティング支援事業を展開してきた GMO NIKKO は、2021 年に NFT 事業推進室を立ち上げ、NFT マーケットプレイス「Adam byGMO」と直接連携することにより、NFT を活用した様々なマーケティング支援を行ってまいりました。

例えば

・NFT 保有者へのユーティリティ（保有者限定コンテンツ）設定

・NFT アイテムであるデジタルデータとフィジカル（現物）データのセット販売

・リアルイベントにて自身が作成したデジタルアートを NFT アイテムとして購入できる権利を販売

・デジタルインセンティブとしての NFT 活用

等

これまでの知見・ノウハウを組み合わせ、NFT を活用したファンベースマーケティングを総合的にプロデュースすることで、さらに多くの一般企業や IP・コンテンツホルダーとファンとの距離を縮める"新しい体験" "新しいコミュニケーション"を創出すべく、この度「NFT プロデュース byGMO」を提供開始することといたしました。

【NFT を活用したマーケティング支援事例】

■小室哲哉氏（https://adam.jp/stores/tetsuyakomuro）

小室哲哉氏の手書きタイトル入りトラックシートのオリジナル原版とのセット販売や、さらに購入者特典としてステムデータを提供いたしました。

また、権利者への申請を条件に、映像創作物への音源利用、音源二次創作を可能にすることで、アーティ

ストとファンの距離を縮めることのできる仕組みを作りました。

■株式会社ネイキッド様（https://adam.jp/stores/nakedinc）

株式会社ネイキッド様が二条城や金沢 21 世紀美術館で開催したリアルイベントの入場権利や、メタバース二条城に設置されるバーチャル行灯に名前を入れられる権利を販売いたしました。

【「NFT プロデュース byGMO」について】（URL：https://gmo-metaverse.com/nftproduce）

「NFT プロデュース byGMO」は NFT の本質である

「本物を証明できる技術」

「本物の在庫を設定できる技術」

「本物に利益を還元できる技術」

を活用したファンベースマーケティングを提供することで、一般企業や IP・コンテンツホルダーとファンとの"新しい体験""新しいコミュニケーション"を創出します。

※それぞれ 100%保証される技術ではございません

GMO アダム株式会社（代表取締役：高島 秀行）が展開する NFT マーケットプレイス「Adam byGMO」との直接連携により、「Adam byGMO」での NFT 活用の企画から販売までをワンストップで支援することが可能です。 また、「Adam byGMO」以外にも、海外を含めた各種 NFT マーケットプレイス、プラットフォームも取り扱うことで、一般企業や IP・コンテンツホルダーの課題やご要望に応じた最適なご提案をしてまいります。

■NFT 活用の支援例（一例）

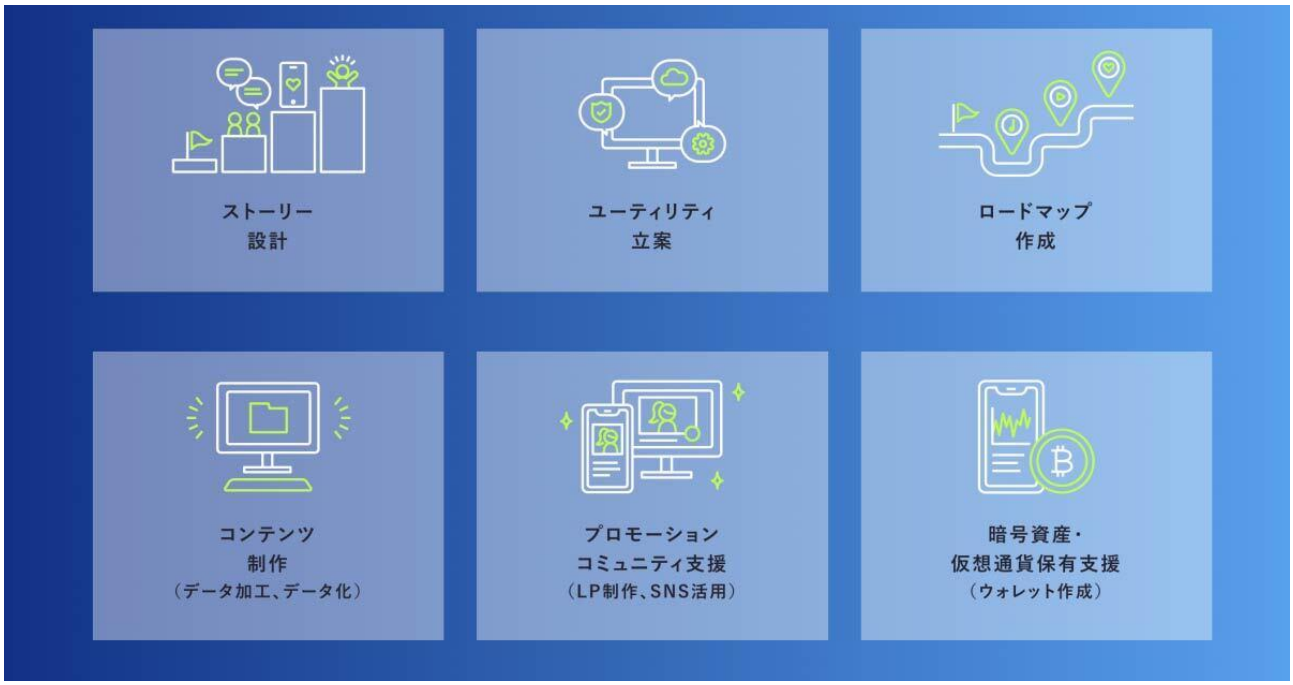
・タレント、アイドル、ミュージシャン、アーティスト等のクリエイター

・YouTuber、VTuber 等のインフルエンサー

・スポーツクラブ・チーム、アスリート

・多くのファンを持つブランドを展開するメーカー・小売等の一般企業

■「NFT プロデュース byGMO 」が提供するサービス



・ストーリー設計（NFT を活用する目的）
・ユーティリティ立案（NFT を保有したファンへの特典）
・ロードマップ作成（NFT をベースにした中長期的な計画）
・コンテンツ制作（NFT アイテムとなるデジタルデータ）
・プロモーション・コミュニティ支援
・暗号資産（仮想通貨）保有支援

【今後の展望】

今後は、GMO インターネットグループで提供されている NFT マーケットプレイス「Adam byGMO」のほか、NFT ドメイン検索・紹介サービス「CryptoName byGMO」など、各種 Web3 関連サービスとの連携を視野に入れ、サービスメニューの拡充を随時行ってまいります。

【GMO NIKKO 株式会社について】

GMO NIKKO は、デジタルマーケティングを強みとする総合マーケティング支援会社です。お客様のユーザーを徹底研究し、ユーザーの心を動かすアイディアを企画し提供してまいりました。また、「TRUE」という統一ブランドのもと、マーケティングソリューションサービスをシリーズ展開しています。今後は、"NFT"や"メタバース"など新しいコミュニケーション手法を常に開拓、そして駆使することで、時代の一歩

先を行く『Surprising Partner』としてお客様の課題解決につながる最高のマーケティングサービスを提供してまいります。

以上

【報道関係お問い合わせ先】
●GMO アドパートナーズ株式会社 経営企画部
TEL：03-5457-0916　FAX：03-5728-7701
E-mail：release@gmo-ap.jp

●GMO インターネットグループ株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 新野
E-mail：pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】
●GMO NIKKO 株式会社 NFT 事業推進室
TEL：03-5456-6650
E-mail：nft@koukoku.jp

【GMO NIKKO 株式会社】（URL：https://www.koukoku.jp/）

会社名	GMO NIKKO 株式会社
所在地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号　渋谷フクラス
代表者	代表取締役社長　佐久間　勇
事業内容	■総合マーケティング支援事業 -インターネット広告事業 -ツール・ソリューション事業 -SaaS 事業 -メタバース・NFT 事業
資本金	1 億円

【GMO アドパートナーズ株式会社】　（URL：https://www.gmo-ap.jp/）

会社名	GMO アドパートナーズ株式会社 （東証スタンダード　証券コード：4784）
所在地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号　渋谷フクラス
代表者	代表取締役社長　橋口　誠
事業内容	■メディア・アドテク事業　■エージェンシー事業
資本金	13 億 156 万 8,500 円

【GMO インターネットグループ株式会社】　（URL：https://www.gmo.jp/）

会社名	GMO インターネットグループ株式会社　（東証プライム　証券コード：9449）
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号　セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表　熊谷　正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業　■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業　■暗号資産事業
資本金	50 億円

Copyright (C) 2022 GMO NIKKO Inc. All Rights Reserved.